

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月26日

計画の名称	100 安全で安心な市民生活に資する都市基盤整備の推進（防災・安全）											
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	大阪市											
計画の目標	安全で安心な市民生活に資することができるよう、事前防災・減災対策として都市基盤施設の整備を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	2,208	A	2,208	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	定量的指標の定義及び算定式 耐震対策橋梁について、耐震対策進捗率をR05年度末の99%からR10年度末に100%となるように整備を推進する。 耐震対策橋梁の耐震対策進捗率を算出する。 耐震対策対象橋梁の耐震対策進捗率 = (目標年次(R10)での耐震対策済の橋梁数/耐震対策対象橋梁数) × 100 (%)	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値			
		定量的指標の定義及び算定式		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		R06当初	R08末	R10末					
1	耐震対策対象橋梁について、耐震対策進捗率をR05年度末の99%からR10年度末に100%となるように整備を推進する。 耐震対策橋梁の耐震対策進捗率を算出する。 耐震対策対象橋梁の耐震対策進捗率 = (目標年次(R10)での耐震対策済の橋梁数/耐震対策対象橋梁数) × 100 (%)		99%	99%	100%				

備考等	個別施設計画を含む	x	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪市	直接	-	市町村道	修繕	南港ポートタウン線	耐震対策(4.54km)	大阪市						1,898	-	-
		位置図記載番号 : A100-01																	
	A01-002	道路	一般	大阪市	直接		市町村道	修繕	千歳橋南取付高架橋	耐震対策(0.25km)	大阪市						5	-	-
		位置図記載番号 : A100-02																	
	A01-003	道路	一般	大阪市	直接		都道府県道	修繕	なみはや大橋北取付高架橋	耐震対策(0.49km)	大阪市						5	-	-
		位置図記載番号 : A100-03																	
	A01-004	道路	一般	大阪市	直接	-	国道	修繕	夕焼け橋	耐震対策(0.11km)	大阪市						100	-	-
		位置図記載番号 : A100-04																	
	A01-005	道路	一般	大阪市	直接	-	市町村道	修繕	千歳橋北取付高架橋	耐震対策(0.08km)	大阪市						200	-	-
		位置図記載番号 : A100-05																	
															小計			2,208	
															合計			2,208	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	94				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	94				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	94				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 100 安全で安心な市民生活に資する都市基盤整備の推進（防災・安全）

事 前 評 價	チェック欄
I . 目標の妥当性 上位計画等と整合が確保されている。（上位計画名：大阪市道路整備中期計画）	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 計画・事業の熟度が十分である。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	<input type="radio"/>

社会資本総合整備計画 参考図面

